

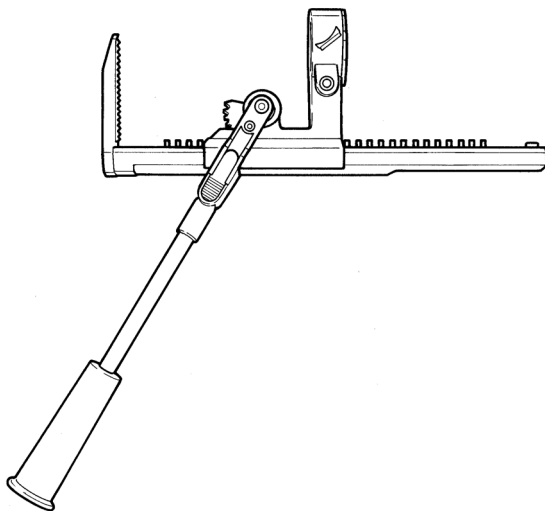
HiKOKI

ボーラー用スタンド

D13-DSD

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



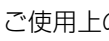
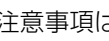
本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

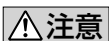
目 次

	ページ
ボーラー用スタンドの使用上のご注意	2
各 部 の 名 称	3
仕 様	3
標 準 付 属 品	4
別 売 部 品	4
用 途	5
適用電気ドリル	5
組 立 て 方	5
ご 使 用 前 に	7
使 い 方	8
別売部品の使い方	10
保 守 ・ 点 検	12
ご修理のときは	裏表紙

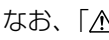
警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

ボーラー用スタンドの使用上のご注意

本ボーラー用スタンドは、5 ページに指定した弊社電気ドリル専用のスタンドです。これらの電気ドリルを取付けて安全にご使用いただくために、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 電気ドリルや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 小物材料に穴あけするときは、材料が錐により振り回されないように、バイスなどを使用して、しっかりとおさえてください。錐の抜けぎわに材料が回されることがあります。
しっかりとおさえないと、材料が回されて、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ② 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ③ 回転させたまま、放置しないでください。
けがの原因になります。

各部の名称

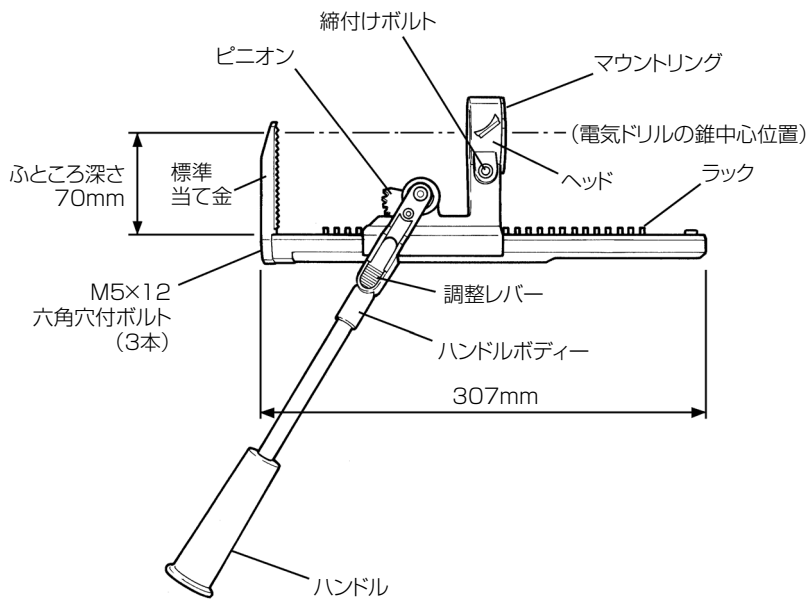


図 1

仕 様

全 長	307 mm
ふ と こ ろ 深 さ	70 mm (標準当て金使用時) 140 mm (L型当て金使用時)
ドリルマウント径	φ 43 mm
有 効 移 動 量	220 mm
ストローク (送り量)	35 mm
て こ 比	1:10 (力=1/10)
質 量	1.7 kg

標準付属品

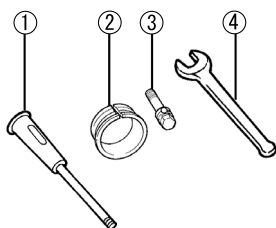


図 2

- | | |
|-------------------|-----|
| ① ハンドル | 1 個 |
| ② マウントリング | 1 個 |
| ③ 締付けボルト | 1 個 |
| ④ 13 mm スパナ | 1 個 |

別売部品

(1) L 型当て金

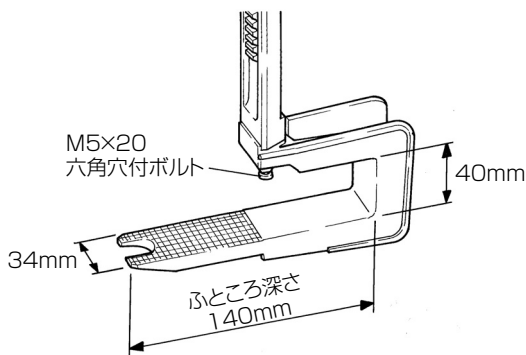


図 3

(2) V 溝付当て金

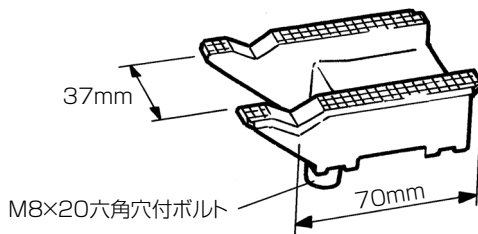


図 4

(3) C チャンネル用当て金

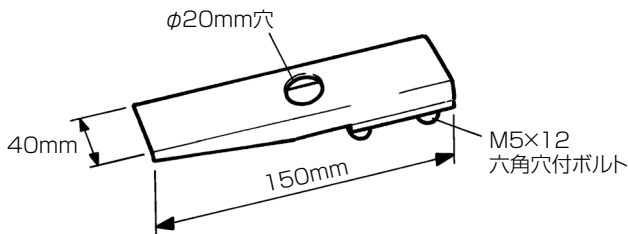


図 5

用 途

電気ドリルを取付け、各種金属、プラスチックなどの穴あけ作業

注 • ドリルでの穴あけ用です。穴あけ以外には使用しないでください。

適用電気ドリル

最大穴あけ能力 (鉄工)	形 名			
13 mm	D 13VC	DV 21V	D 13VD *1、2	D 13VE *1、2
	D 10SD *2	D 13TA *2	DMT - 13A *2	VTP - 16 *2

* 1 付はボーラー用スタンドが付属している機種です。

* 2 付は旧形機種です。

組 立 方

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ず電気ドリルのスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- 電気ドリルの固定は、確実に行ってください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

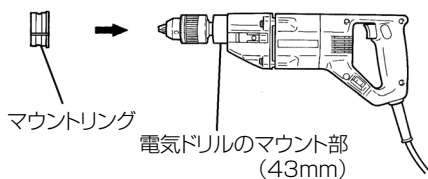


図 6

- (1) マウントリングを電気ドリルのマウント部 (43 mm) に取付けます。

(図 6)

マウントリングの取付けが固いときは、ドライバーなどですき間を拡げてください。(図 7)

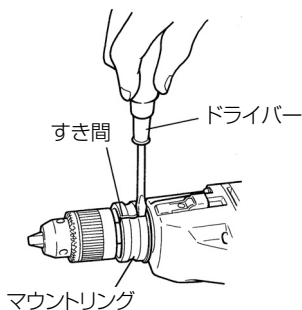


図 7

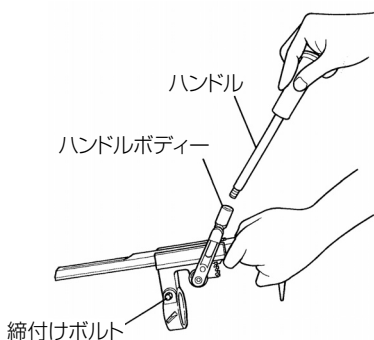


図 8

- (2) ハンドルをハンドルボディーにねじ込み、取付けます。(図 8)

- (3) 締付けボルトを取りはずします。

(図 8)

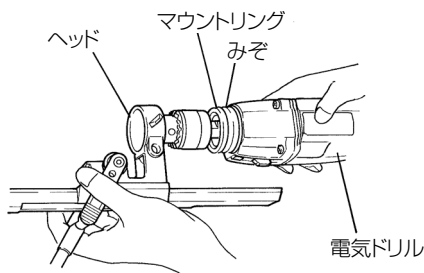


図 9

- (4) 図 9 のようにマウントリングの付いた電気ドリルをヘッドの奥までさし込み、取付けます。

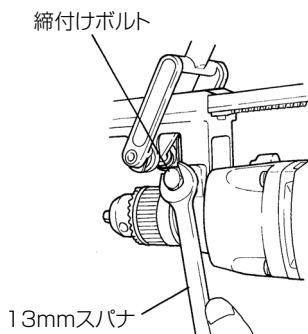


図 10

- (5) マウントリングのみぞ部分に締付けボルトを通して、付属の 13 mm スパナでしっかりと締付けます。
(図 10)

※ 電気ドリルの取付け方向については、8 ページの「電気ドリルの位置調整」の項を参照してください。

ご使用前に

⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1 ～ 2 項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる…………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる…………

スイッチが入っているのを知らずに、さし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

3. 電源コンセントの点検…………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

使 い 方

1. 電気ドリルの位置調整……………

ハンドルを引くことによる錐のストローク（送り量）は、被加工材側へ 35 mm です。

被加工材の形状および厚さに応じて、錐の刃先と当て金の距離 A（図 11）を調整します。

- (1) 図 11 のように調整レバーを押したまま、ハンドルを当て金方向に移動させ、ラックとピニオンのかみ合いを解除します。（これでヘッドは移動可能になります。）
- (2) 被加工材に合わせて、錐の刃先と当て金の距離 A を調整します。

※ 一度穴あけ深さを調整しますと、何回作業を繰り返しても、この距離は変わりません。

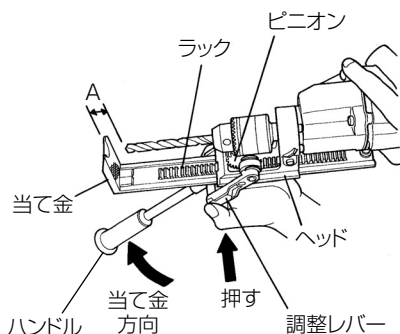


図 11

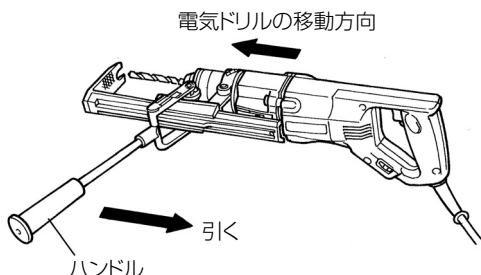


図 12

2. スイッチが入っていないことを確かめ、さし込みプラグを電源にさし込みます。

3. スイッチの操作……………

スイッチは引くと電源が入ります。

切るときはスイッチをはなしてください。

（詳しくは、電気ドリル本体の取扱説明書をお読みください。）

4. 穴あけするには……

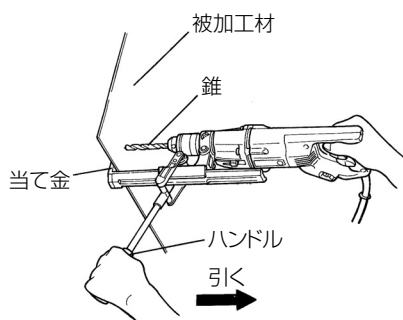


図 13

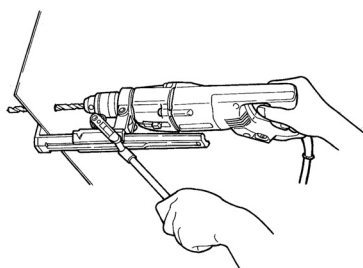


図 14

錐が回転したらハンドルを手前に引いて電気ドリルを被加工材の方へ移動させ、穴あけを行います。

※ 本機はストロークが 35 mm のため、被加工材の厚さが 35 mm 以上の場合、前項の「1. 電気ドリルの位置調整」を繰り返してご使用ください。

- 注**
- 錐の回転速度を落とさないように作業してください。ハンドルを強く引きすぎると錐の回転速度が落ち、モーターを焼損する恐れがあります。
 - 当て金は、できるだけ被加工材全面に接触させてください。

5. 切りくずが調子よく出る程度にハンドルを引いてください。

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先をいためて作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

別売部品の使い方

1. L型当て金…………

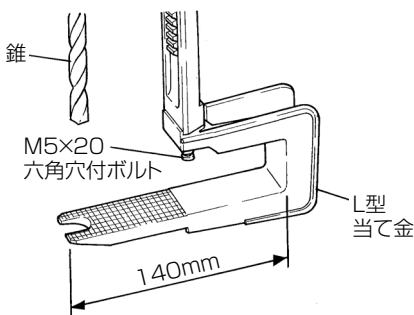


図 15

- ふところ深さを拡げて、被加工材の端面から 140 mm の位置まで穴あけできます。
- M5 × 12 六角穴付ボルト (3 本) をはずして標準当て金をはずし、L 型当て金を M5 × 20 六角穴付ボルト (3 本) で固定します。

2. V 溝付当て金…………

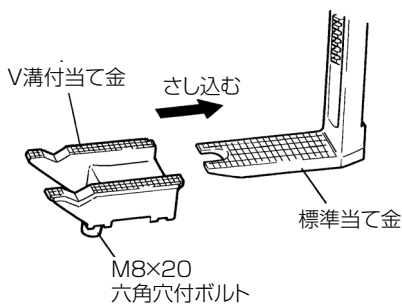


図 16

- パイプ状の被加工材および角度のある被加工材に対して穴あけできます。また、ホールソー使用時にご利用ください。
- V 溝付当て金を標準当て金の奥まで押し込み、M8 × 20 六角穴付ボルト (2 本) で固定します。また、図 18 のように角度のある被加工材に穴あけする場合は、六角穴付ボルトの締付け量で角度を調整してください。

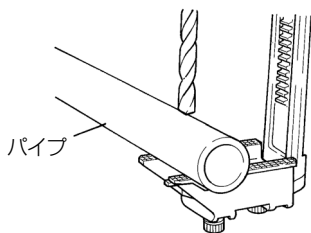


図 17

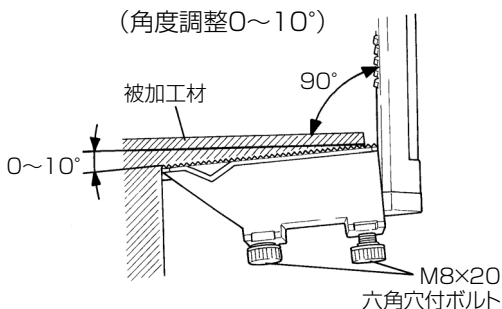


図 18

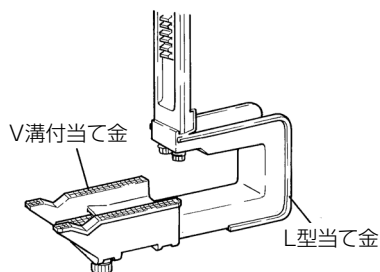


図 19

- 図 19 のように、L 型当て金と組合わせて使用できます。

取付け方法は、標準当て金のとときと同じです。(前ページの図 16 参照)

太径のパイプ材、長いふところ深さが
必要で角度のある被加工材にご利用く
ださい。

3. C チャンネル用当て金……………

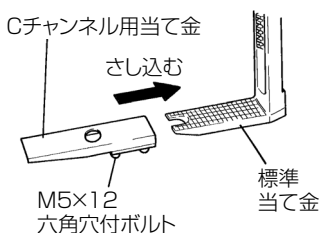


図 20

- リップみぞ形鋼 (C チャンネル) などに
対して穴あけできます。

- C チャンネル用当て金を標準当て金の
奥までさし込み、M5 × 12 六角穴付ボ
ルト (4 本) で固定します。

- 図 22 のように L 型当て金と組合わせ
て使用できます。取付け方法は、標準当
て金のとときと同じです。(図 20 参照)

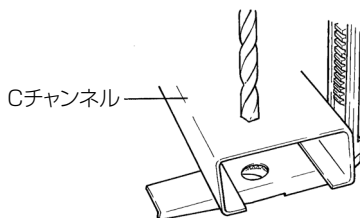


図 21

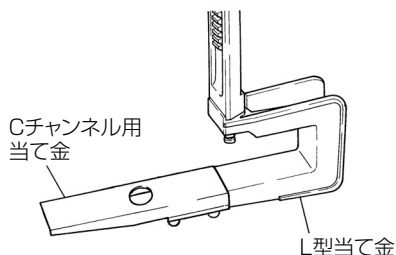


図 22

保守・点検

警告

- 点検・手入れの際は、必ず電気ドリルのスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 錐の点検……………

切れ味が悪くなった錐をそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所
には保管しない。

メ モ

メ モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>